



青森市立佃小学校
令和6年度学校だより
臨時増刊号①
R7.2



青森市佃二丁目6番1号
☎ 741-0381
FAX 741-0384
児童数442名

教育活動に関する保護者アンケートに寄せられたご意見と回答 (文責 教頭)

◆ 1月にお願ひした学校教育アンケートにおいて、たくさんのご意見を頂きました。学校としての回答とともにお知らせいたします。原文通りではなく学年も伏せていますこと、ご了承ください。なお、ご意見の無かった項目については割愛しました。また、学校として回答できないご意見についても割愛させていただきました。個別の事案については個別に対応させていただきました。以下、「▶」が、いただいたご意見、「☞」が学校としての回答 (文責 教頭) です。

②【学習指導】子供に学ぶ喜びを体験させ、確かな学力向上を図る「分かる授業づくり」に努めている。

- ▶ 参観日の様子を見ていて、授業の進め方に工夫が見られ、先生の努力を感じている。
- ▶ 分かりやすい授業というより、カリキュラムをこなすための授業に感じる。理解していないままの勉強が残っている。

- ☞ 学校における学習へご理解、ありがとうございます。先生方の日々の努力が見えていただけて、うれしい限りです。
- ☞ 学習指導要領で定められたカリキュラムに基づいて授業を進めていますが、授業の中で子供たちとの話合いや交流活動も行います。理解できない部分があるとなれば、休み時間などを使用しての補助学習等で補っていきたいと思います。

③【生徒指導】学校生活全般において、子供をよく理解しようと努め、基本的な生活習慣の定着や子供への指導が適切である。

- ▶ 長期休み明けの生活リズムチェックにいつも助けられている。習い事などの関係 (目標時間の就寝が叶わない) について一文入れてくださることに思いやりを感じる。
- ▶ やる気を損ねる言葉や否定的な対応で戸惑っている姿を見るのが辛い。もう少し生徒をきちんとみて良いところを伸ばす教育をしてほしい。

- ☞ 本校は、知育・徳育・体育の三分野それぞれにおける学校教育目標を定め、知・徳・体を一体的に育ていけるよう教育課程を編成しております。特に、長期休業明けの規則正しい生活に向けた指導もその一環と捉えておりますので、引き続き、ご家庭のご協力をよろしくお願ひします。
- ☞ 日頃より、学校では子供たちの自己肯定感の向上を目指して取り組んでいます。指導の在り方については、今後とも、子供の心に響く指導を心掛けて参りますので、ご理解くださるようお願いいたします。

④【いじめ防止】「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめに対して、未然防止、早期発見・早期対応に努めている。

- ▶ 早期対応等、ご尽力いただいているとは思いますが、双方の意見などの聞き取りがなされていないと思う。早期報告や事後報告について疑問に思う点がある。
- ▶ 先生のタスクが多すぎて、いじめを見落とさないのは無理があると感じる。見えないところで、大人や周囲に分からないようにやっているようなものは、先生に見つけてくださいというのは無理があるなど思う。
- ▶ 子供同士のいざこざや、その後の様子など出来るだけ見てあげてほしい。きめ細やかな心の育成と、道徳について学ぶ時間が少なく、思いやりの気持ちが育っていないように感じる。結果としていじめに発展してしまいそう。
- ▶ いじめ防止については【被害者になったとき】【加害者になったとき】のどちらの目線からも教育が必要だと思う。大きくなると悪質ないじめも増えてくるので、被害者を守る事前教育をお願ひしたい。また、いじめは犯罪・人権侵害・取り返しのつかないこと、目に余る行為は警察と連携すべき問題、相手の人生はもちろん自分の人生を台無しにするということを、世の中の事件・事例を出して現実的な視点で教育すべきと思う。

☞ 日頃より、学校ではいじめの認知として「学校生活アンケート」、本人や保護者からの連絡、周りの子供たちからの情報など、アンテナを高くして情報収集に努めています。しかし、子供同士のトラブルは「どの学校でも」「どの学級でも」様々な場面で起こる可能性があります。芽が小さいうちに早期発見、情報を共有し、全職員の共通理解の下、解決に向けて真摯に取り組んでいます。今年度は、昨年度の評価と比べて、10%向上していることから、引き続き今年度のように努めていきます。今後も気になることがありましたら、学校までお知らせください。

⑤【特別活動】異学年交流を活用した縦割り清掃等で子供の望ましい人間関係の育成、生き生きとした活動の推進に努めている。

- ▶ 上級生と休日に偶然会い、『掃除の班長だよ』と子供が教えてくれた。元気に挨拶をすると、会釈と笑顔で返してくれて、良い関係を築けているのかなと微笑ましく思った。
- ▶ 縦割り活動をしているので他学年の子の話をよく聞くので、すばらしいなと日々感じている。
- ▶ 縦割り掃除で学年の垣根を越えた交流をすることは良いと評価しているが、下学年の子が年上に対して乱暴な言葉を返すことがあった。言葉使いも教育してほしい。

☞ 縦割り清掃班は、異学年交流の礎になっており、6年生は全校のリーダーとして活動してくれています。他の学年の子供たちには、そんな6年生の行動を手本に成長してほしいと日々願っています。

☞ 日頃より、目上の人や上学年に対する尊敬の念については指導をしているところですが、今後も折に触れて、態度や言葉遣いについて指導を継続していきたいと思います。

⑥【安全管理】安全な生活に対する態度や行動力の育成、災害や防犯時を想定した指導や訓練に取り組んでいる。

- ▶ 池袋の事件について、授業で取り上げたことがあったようで、学校にいて事件に巻き込まれることもあるということに驚いていました。子供自身に防犯意識をもたせる取組として有効だと思う。
- ▶ 引き渡し訓練のときに、引き渡し者の確認等もなく、ただのお迎えのようになってしまう事が残念だった。他の学年は確認されていたので、再度やり方等を、職員間で共有し統一していただきたい。
- ▶ 登下校時の寄り道や飛び出し、他人宅への侵入、決められたコース外を歩くなど、きまりを守られていない生徒が多く心配である。（特に低学年）



☞ 火災や地震、津波などを想定した避難訓練の他に、不審者対応訓練も行っています。玄関の施錠の徹底や不審者が侵入した際の行動の仕方について、警察官の指導の下、教職員や全校の子供たちが対応の仕方を学んでいます。今後も、いざという時を想定して対応を考えていきます。

☞ 引き渡しについては、引き渡し場所によってもやり方に差異があります。様々な場合を想定した訓練を通して、よりよい方法を職員間で共通理解していきたいと思います。

☞ 登下校の仕方については、日頃より指導してはいますが、複数人ではきまりが疎かになる場合があります。「事故やけがに十分注意すること」「決められた通学路を通り、人に迷惑をかけないこと」を今一度確認したいと思いますので、保護者のみなさんからもお声掛けください。

⑦【施設管理】児童が安全に学校生活を送れるよう、環境整備・施設・設備の管理に努力している。

- ▶ 職員玄関側の門が危ないと感じた。
- ▶ 東側の駐車場に大きな穴があり、車で行く場合とても不安になるので整備してほしい。
- ▶ 児童玄関を出て右側の道路へ出るあたりの地面の穴あきやコンクリート？がボコッと出ているところなど、躓かないかなと気になる。
- ▶ 校庭が草むらになっていて、蚊が多く外で活動するたびに多数刺されて帰宅する。マラソンなど外での活動をすすめるのであれば、もう少し活動しやすい環境になるとよい。（同内容の回答複数あり）
- ▶ 児童会に迎えに来た数分で刺されるほど。おそらく児童玄関前の前庭の水捌けが悪く、雨の日の後の水たまりが長く放置されることが関係するのでは。
- ▶ 入学前のクラス分けの張り紙はすべきでないと感じる。スマホの所持率が上がり SNS も当たり前

の時代に、どの小学校の何年何組にどの子がいるということを地域に無防備に公開すべきでないと思う。

- ▶ 男子トイレだけ中が見えるのは理由があるのか？全部の男子トイレがどうかは分からないが。

- ☞ 職員玄関前の校門は、かなり以前から傾きがあったようですが、地域の方からも心配の声があり、青森市教育委員会より、撤去の方向で話が進んでいるとの連絡がありました。詳細が分かり次第、学校だより等でお知らせいたします。
- ☞ 東側駐車場入り口付近の大きな穴や、児童玄関から校庭へ抜ける通りの盛り上がり等については、以前より青森市教育委員会に補修を依頼しておりましたところ、冬休みに入る前に全て補修が完了し、学校だよりでもお知らせしたところです。長い間ご不便ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。
- ☞ 校庭や前庭には、大きなマツやスギ、イチョウなどの木がたくさんあります。結果的に、ハチや蚊など飲虫もいることがあります。子供たちの活動の邪魔になる枝等については剪定していますが、全ての木を伐採するまでに至っていないのが現状です。校庭等の草は、除草剤を使えないので、技能技師が天候を考慮しながら刈り取り作業を何度もしております。あまり、木の茂ったそばに行かないよう指導を繰り返していきたいと思います。また、前庭の水溜りについても、教育委員会と相談していきたいと思います。☞ 入学前のクラス分けについては、必ずしも保護者が一緒に来るとは限らないため、子供たちが確認できる日程や時間帯を決めて貼り出すよう配慮しています。ただ、時間内に見られない保護者の方のことも考慮して、マチコミを利用した限定配信など方法も考えていきたいと思います。
- ☞ 全てのトイレ入口には、扉は付いています。閉めることも可能ですが、本校に限らず、トイレ内で遊んでいたり隠れて出て来なかったりすることが考えられます。トイレ内での出来事が生徒指導上の問題になることも考慮し、扉は開けています。ただ、レースのカーテンや暖簾などを設置してエチケットやプライバシーにも配慮していますが、不備がある場所は今一度点検して改善していきたいと思います。

⑧【健康・体力】健康増進や体力向上のために、適度な運動や食などの適切な生活習慣の形成に努めている。

- ▶ 子供が給食の時間を苦痛に感じている。
- ▶ 給食を実際に食べている時間が子供の話を聞く限りでは短いように感じたことがある。『実際に食べる時間』を少しでも長くできるように、準備、後片付けをスムーズに出来るように家でも学校でも指導できたらと思う。
- ▶ 運動を推奨する割に、体育の授業をカットしたり、連帯責任と括って関係のない児童まで割と長い期間昼休み体育館や外で遊ばなくしたりするのはどうかと思う。給食に関しても、限られた時間の中でなかなか静まらないから食べ始められないが為に、早食いや食べたくても最後まで食べられない、ということがあのようなので、給食時間はきちんと確保してほしい。

- ☞ 給食の時間は、12:05～12:55までの50分間です。準備に15分、食べる時間に20分、後片付けに15分を割り当てています。4時間目が延びないように配慮していますが、授業が遅くなったり教室まで移動するのに時間がかかったりして、準備が必要以上にかかることもあります。食べる時間が少なくならないように、職員全体で共通理解していますが、この機会に再確認したいと思います。
- ☞ 運動に積極的に取り組む児童を育てる方針に変わりはありませんが、生徒指導面での学級指導も児童の健全な育成においては不可欠なことです。運動はもちろんのこと、授業や給食の時間をきちんと確保するとともに、子供たちの健やかな成長をサポートしていきたいと思います。

⑩【特別支援教育】特別な教育的支援を必要とする子供に、きめ細かな指導・支援を行っている。

- ▶ 特別支援学級ではないものの、先生方に本当に良くしていただき感謝に尽きる。席の配置を工夫してくれたり、声掛けや心配りもしてくれたり、我が子の今日があると思っている。
- ☞ ご理解いただきありがとうございます。特別支援学級の在籍ではなくても、学級の中にはいろいろな面で教師の支援を必要とする子供たちがおります。全ての教職員は、子供たちの多様性を尊重する「インクルーシブ教育」の下で学習活動を進めていますので、今後ともご協力くださいますようお願いいたします。

⑫【保護者・地域住民との協力・連携】授業参観日や懇談会、個人面談や各種行事等、家庭や地域の協力のもとに教育活動の改善・充実に努めている。

- ▶ 参観日の授業は、主要教科を中心に、いつも通りの授業を公開してほしい。親としては、授業中にどんな様子なのか、普段の様子を知りたい。ところが今年度は、外部講師の授業が多かった。日常の様子が分かる授業公開を希望したい。

☞ ご意見ありがとうございます。参観日を開催する曜日も重なっていたこともあり、授業が同じ教科に偏ったというお話もいただいております。学年としては、保護者のみなさんにも何かの参考になるような話題を提供したいという思いがあるのかもしれませんが、ただ、学級の授業をお見せすることを基本として、来年度の参観日の計画に生かしていきたいと思っております。

⑬【広報・情報提供】学校の様子について学校便りや各種便り等で家庭や地域への情報提供に努めている。

- ▶ 折館校長先生になってから、マチコミで学校行事のことが知れて、学校や子供たちをより身近に感じられるようになったり、マチコミというアプリにも親しみをもてるようになったりした（開く回数が増えた）。
- ▶ 今年度はマチコミや学級通信で、学校での子供の様子を知る機会が増えた。子供たちや保護者に寄り添った取り組み、ありがとうございます。
- ▶ お知らせはとても良いが、写真が白黒なので楽しそうな様子が伝わらないのが残念である。（学校だより）



☞ うれしいご意見をいただき感謝いたします。今年度の途中から、マチコミの機能の一つである「タイムライン」を使って、子供たちの学校生活の様子をお知らせしています。マチコミのメール添付とは違い、その場の雰囲気まで伝わるツールとなっています。今後も、積極的な情報発信に努めてまいります。

☞ 学校だよりに掲載する写真は、印刷の関係上どうしても白黒になってしまいます。ただ、今年度途中から、学校だより「電子版」を配信しておりますので、そちらでご確認いただければ幸いです。また、インターネット上に開設している学校ホームページにも載せておりますので、併せてご覧ください。

⑭【夢・志】教育活動を通して、「夢や志をもち挑戦する児童」の育成に努めている。

- ▶ 折館校長先生の『チャンス、チャレンジ、チェンジ』は我が子のお気に入りのようだ。少なくとも我が子は、校長先生の影響で、将来について想いを巡らせたり、挑戦したりすることに関心をもつようになったと感じる。
- ▶ 算数・漢字検定を、年1回でも実施続けて欲しかった。クラス、学年関係なく検定友達ができ、楽しく取り組んでいたのもとても残念だった。

☞ うれしいご意見をいただき感謝いたします。「チャンス・チャレンジ・チェンジ」は、全校朝会等で度々紹介をし、本校の合言葉として全校児童に浸透しているようです。何事も挑戦から始まる…それが将来につながることを願って、今後も子供たちに伝えていきたいと思っております。

☞ 漢字・計算検定は、土日開催になっておりましたが、教職員の働き方改革の一環として、土日の勤務が難しくなっています。ご理解くださいますようお願いいたします。本来であれば、市内の決められた会場で行うものですので、子供たちの実力の発揮と、チャレンジ精神の成長を期待したいと思っております。

⑮【複数担任制】複数担任制により、学年の教員全体で指導・支援する意識が高まることによって、多面的な児童理解や個に応じた指導に生かされている。

- ▶ 学年を超えて、先生と関わりながら成長して欲しい。

☞ ご意見ありがとうございます。本校では、外国語専科（4～6年、3年の一部）、理科専科（4～6年）、家庭科専科（5・6年）の他に、各学年の担任が学年の教科を受け持つ「教科担任制」を実施しています（3～6年）。道徳の時間も、教材ごとに担任がローテーションしながら各学級を指導しています（全学年）。その他に、どの学年でも、各学年の担任が全員の目で自分の学年児童を見守る「教科担任制」も実施しています。朝・帰りの会や給食の時間など、ローテーションしながら子供たちの様子を見ています。そこで気が付いたことを学年で共有することで、担任の新たな発見につながっています。子供たちへの言葉掛けにも広がりが見られ、良好な関係が築かれています。

⑱その他

- ▶ 宿題が毎日あるが、ない日があってもよいのではないか。少し減らすなど。
 - ☞ 宿題は、各学年学級の裁量に任せておりますが、行事の後や前期の終わり・後期の始まりなど、全校的に宿題なしの日を統一することも検討していきたいと思っております。
- ▶ 無記名アンケートにした方が、素直な意見が出ると思います。記名する事で、本当に思っている事を書くのは遠慮してしまいます。
 - ☞ ご意見ありがとうございます。確かに、記名することによって本当の思いを書き切れない方もいらっしゃると思いますが、必要に応じてその方にお答えする必要があるため、記名式にしておりますことをご了承ください。
- ▶ 通知表のフリーコメントが無くなったのが非常に残念に思います。いいところ、改善して欲しいところを記録として残して欲しかった。（同内容の回答あり）
 - ☞ 前期の通知表への所見の件ですが、校内でも何度も検討いたしました。夏休み中に行う個人面談の中で、子供たちの学校での様子や成績について資料を参考にしながらお話する機会がありましたので、通知表の所見とかなり重複することから、前期の通知表の所見欄は無しにしました。後期は所見欄がありますので、お子さんへの励ましの言葉をお願いします。
- ▶ マチコミ機能を放課後児童会にも付与してほしい。欠席等の連絡が簡便になると思う。
 - ☞ 学校から配信されるマチコミメールについては、放課後児童会も登録しているので、情報が共有されています。ただ、学校組織と放課後児童会の組織が違うことと、放課後児童会は希望者登録であるのため、欠席の連絡等に関しては保護者の方から直接連絡することになりますので、何卒ご了承ください。
- ▶ 自宅に帰る時間について、守られてない児童がいるのが気になる。また、大人のいない間に家に上がり込まれることがあるので、もちろん家庭でも子供に話をするが、もう一度学校のルールとして周知してほしい。
 - ☞ 帰宅時刻については、暗くなる時期に合わせて違いますが、例えば帰宅時刻が午後5時であれば午後5時には家に入っているようにと学校では指導しています。家庭にもご協力をお願いしているところですが、機会あるごとに帰宅時刻をお知らせしていきたいと思っております。また、大人のいない家には絶対入らないということも、「佃小学校のきまり」で伝えていきますので、今一度ご家庭でもお子さんと一緒に確認合ってください。
- ▶ 冬は保護者も通勤に時間がかかり、早く出る。そのため、子どもも家を早く出したいが、夏も冬も35分解錠は遅過ぎ。せめて冬は30分解錠にしていきたい。
 - ☞ いただいたご意見を元に、12月から7時30分解錠を実施していました。ただ、今シーズンの大雪で早く仕事に出る必要がある方もいらっしゃるようですので、1月15日から試行的に7時20分に解錠するという連絡をさせていただきました。どうしても早く出なければいけないという場合は、どうぞご利用ください。
- ▶ 地域ねぶたが続いている事、地域のストレッチ教室があること、地域の方の図書ボランティア等、素晴らしい活動が続いているのがすてきな事と感じています。日々、先生皆様には感謝しております。
 - ☞ ありがとうございます。地域や保護者の方々の多大なるご協力により、学校



が成り立っています。これからもご理解とご協力よろしく申し上げます。

- ▶ 夏休みにクロームブックを使用する宿題が出された。仕事中は祖母宅に預け宿題をさせたいが、インターネット環境がないため進めることができない事があった。自宅外にクロームを持ち出すリスクもあるためクローム中心の課題は改善して頂きたい。
 - ☞ ご意見ありがとうございます。Chromebookは、現在では、子供たちの重要な学習用具の一つになっています。WiFi環境で動くことが前提となっておりますが、「eライブラリ」はオフラインで学習できるAI型ドリルになっています。学校でダウンロードすればWiFiなしでも利用できますので、担任又は学校までご連絡ください。
- ▶ 「佃ジャージについて」近年防犯の観点から名札を外して登下校しているにも関わらず、あんなに大きく漢字で「佃」とかいてあるのはもう時代錯誤である。防犯上も機能面も踏まえていい加減変えてほしい。
 - ☞ 現在のジャージのデザインは、ずいぶん歴史があるものだと思います。作成に携わっている業者の方も、生地在庫がなくなり次第生産終了となると話していましたので、PTA会長をはじめPTA理事会でも話題にして、リニューアルする方向で進めていきたいと考えています。
- ▶ 「名札について」何かと忙しい年度変わりに毎年、名札のフェルトを縫い合わせるのには手間がかかり、時代に合っていないと思います。
 - ☞ 1年生、2年生、3～6年生と、成長に応じて名札の形を変えています。フェルト台布はネームプレート用ですが、保護者の方々それぞれが、台布が破れないように工夫して仕上げてくださっています。本当にありがとうございます。縫い合わせなくてもよい布、または、布に代わるもの、または、別なネームプレートへの変更等、教職員間でも情報交換していきたいと思っています。

＜学校行事＞運動会について

- ▶ 運動会の参観の方法は継続して良いと思う。
- ▶ 運動会の優先スペースはとても良かった。
- ▶ 運動会は、親も祖父母もずっと立ち見は疲れるので、学年ごとに別日でやるのもゆっくり見れてよいのでは。
- ▶ 保護者の席を前列の人は椅子を使って座ると、みんなが立って見るより見えやすいのでは。
- ▶ 人がすごくて見づらかった。学習発表会のように、自分の子供の学年を見たら下がってほしかった。
- ▶ 運動会では応援合戦をやってほしい。
- ▶ 毎年似た様なプログラムなので、変えて欲しい。
- ▶ 保護者の観覧場所と子供たちが遠くて見えない。最後のダンスはもっと見えない。



☞ たくさんのご意見ありがとうございます。運動会は、参観人数制限なしで行っておりますが、児童の競技スペースを確保した上で、保護者のみなさんが見やすくなるようにするにはどうすればよいか、毎年の課題でもあります。また、競技種目も、限られた時間の中で鑑賞していて盛り上がるような内容を考えていますが、今後も、地域の方々や保護者のみなさんに喜んでいただけるような工夫を凝らしていきたいと思っています。

＜学校行事＞学習発表会について

- ▶ 保護者入れ換え制や子供のくじ引きで座席が決まっているなど、待ち時間がないことと場所取りをしなくていいのがとても良かった。
(同内容多数あり)
- ▶ 学年ごとにゆっくりと見るのができたので良かった。学年入れ替え制は今後も続けてほしい。(同内容多数あり)
- ▶ 来賓席が最前列で見えにくかったが、保護者が前で観れたので良かった。
- ▶ ステージ前をござ席にしたことで、児童の発表が前より見やすくなった。家庭毎に区切られているのも良い。(同内容多数あり)



- ▶ 子供たちの意見を尊重して配役され、一人一人スポットが当たる時間が設けられていて全員輝いて見えた。
- ▶ 欲を言えば最後にみんなで歌があったらよりよく感じられたと思います。
- ▶ 入れ替え制はいいが、見たい人は他の学年も観れるようになるともっとよいと思う。
- ▶ 楽器と歌という内容だったが、もう少しユーモアのある内容にしてほしかった。

☞ たくさんのご意見ありがとうございます。【学年入替え制】の導入以来、多くの方から支持をいただいております。また、【児童による座席くじ引き制】で場所が事前に決まっているため、混雑緩和にも大きく貢献しています。また、今年度からいす席ではなく【ござ席】にしたことにより、「見やすくなった」という意見がずいぶんありました。このような取組を含めて「是非、来年度以降も続けてほしい」という意見がとても多いので、今後も継続する方向で考えていきたいと思っています。お子さんの輝いている姿をじっくり鑑賞できる現在のスタイルは、子供たちにとっても保護者のみなさんにとってもプラスになると思っています。また、他の学年の発表も見たいというご意見にお応えして、今年度は学習発表会後に全学年の演目を配信しました。配信がとてもうれしいという声もたくさん届いていましたので、来年度も同様にしていこうかと考えています。

みなさんから、教育活動に関する多くの意見をいただきありがとうございました。今後も何かございましたら、いつでも気兼ねなくお申し出ください。

